

令和4年度環境大臣表彰を受賞！

まず、気候変動アクション環境大臣表彰では、学校法人立命館 立命館中学校・高等学校が受賞されました。

同校では、大規模な太陽光発電設備の設置などによる自然のエネルギーを最大限利用したエコスクールの建設により、省エネ・創エネ・蓄エネを促進するなど、脱炭素社会の実現に不可欠な建築物の脱炭素化において、早期から模範的な取組が行われています。また、校舎を環境教育の「教材」として活用し、環境や技術の「見える化」と自発的な環境行動を促す取組を通じ、一層の省エネと環境教育を実現しています。こういった「適応」と「緩和」の両面での活動が認められ、受賞されました。



自然エネルギーを最大限利用したエコスクール

次に、循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰では、循環型社会形成推進功労者として株式会社日進FULFIL京丹後事務所（旧株式会社白石バイオマス）が受賞されました。

同社は、会社設立時からバイオマスとプラスチックの複合化の研究を行い、バイオマスの特性を活かした環境に優しい製品を開発しています。バイオマスプラスチックは、CO₂の排出削減や化石資源の節約等、様々な場面で環境負荷低減につながる素材です。バイオマスを利用することによって、循環サイクルを実現することができるだけでなく、バイオマスならではの特性を活かした製品を作り出すこともできます。

また、樹脂素材だけでなく、米ぬかを配合し抗菌・消臭効果に優れたポリ袋や、それを応用した防護エプロンなどの製品も開発しています。コロナ禍においては、防護エプロンを京丹後市に寄付するなど、地域貢献の面でも積極的に活動しており、こうしたバイオマスプラスチックの商品化の実現や地域への貢献が総合的に評価され、今回受賞されました。



NEOPLA[®]R-SERIES

米49%PP、PE



開発されたバイオマスプラスチック製品
(ごみ収集袋)